

2015年度第3四半期決算説明会



2016年1月29日

---

# 1. 2015年度第3四半期決算実績概要

---



# 2015年度第3四半期実績(2015.4.1 - 2015.12.31) <対前年度実績>

## ポイント 減収増益

(+、-、+/-、▲は利益に対する影響を示す、億円)

売上高	▲2,402	-	都市ガス	(▲2,015:原料費調整に伴う単価減▲1,983、数量減▲32)
		-	その他エネルギー	(▲458:販売量減・単価減による電力売上減 等)
営業費用	+3,119	+	都市ガス原材料費	(+2,619:フレーム影響等による単価減+2,553、数量減+66)
		+	その他エネルギー	(+510:電力販売量減・単価減による燃料費減 等)
営業利益	+717	+	都市ガス	(+ 688:ガス粗利+604(うちスライド差+551))
		+	その他エネルギー	(+ 53:LNG販売+82、電力▲59 等)
		+	器具・工事	(+ 50:昨年度3Qエネファームメンテ費引当実施 等)
		-	その他	(▲49:海外▲61 等)
特別損益	▲283	-	減損損失▲186: 当期▲191(バーネット▲106、QCLNG▲84)←前期▲5	
			固定資産売却益▲54(当期0←前期54)、投資有価証券売却益▲48(当期0←前期48)等	

(単位: 億円)

	2015年度3Q	2014年度3Q	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	10,833	10,850	▲17	▲0.2%
売上高	13,399	15,801	▲2,402	▲15.2%
営業費用	12,114	15,233	▲3,119	▲20.5%
営業利益	1,284	567	+717	+126.3%
経常利益…①	1,253	514	+739	+143.6%
親会社株主に帰属する当期純利益*	789	377	+412	+108.8%

\* 2015年度から「当期純利益」より表記が変更。

気温影響…②	▲91	▲37	▲54	—
スライドタイムラグ…③	506	▲45	+551	—
年金数理差異償却額…④	▲17	22	▲39	—
補正経常利益①-(②+③+④)	855	574	+281	+49.0%

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
15年度3Q	121.74	54.59	19.6
14年度3Q	106.73<+15.01>	102.51<▲47.92>	19.3<+0.3>

年金	運用利回り ※コスト控除後	期末資産 (億円)
3Q累計実績	0.51%	2,760

年間期待運用収益率:2%

<>内対前年度増減

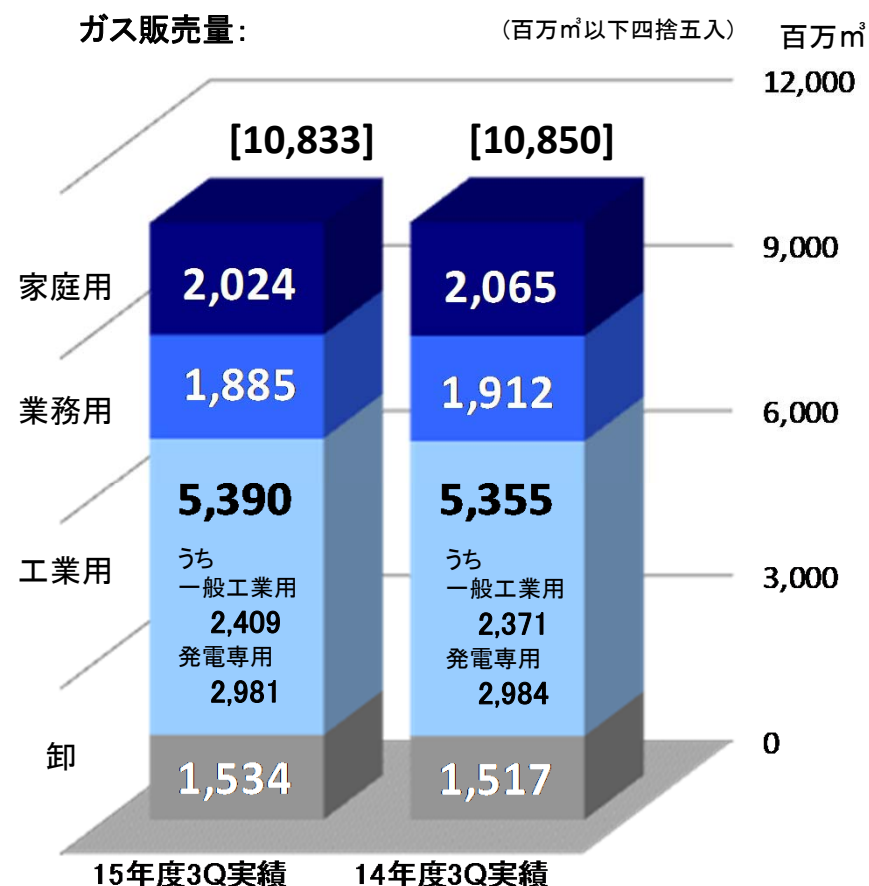
# 連結ガス販売量実績

## 前年度実績→今年度実績

▲17百万m<sup>3</sup> (▲0.2%)の減少

[うち気温影響▲97百万m<sup>3</sup>▲0.9%の減少]

<p>■ <b>家庭用</b> ▲41百万m<sup>3</sup> (▲2.0%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気温要因 ▲64百万m<sup>3</sup></li> <li>● 日数影響 +4百万m<sup>3</sup></li> <li>● お客さま件数 +32百万m<sup>3</sup></li> <li>● その他 ▲13百万m<sup>3</sup></li> </ul>
<p>■ <b>業務用</b> ▲27百万m<sup>3</sup> (▲1.4%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気温要因 ▲22百万m<sup>3</sup></li> <li>● 日数影響 +12百万m<sup>3</sup></li> <li>● お客さま件数 +15百万m<sup>3</sup></li> <li>● その他 ▲32百万m<sup>3</sup></li> </ul>
<p>■ <b>工業用</b> +35百万m<sup>3</sup> (+0.6%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般工業用: +38百万m<sup>3</sup></li> <li>● 発電専用: ▲3百万m<sup>3</sup></li> </ul>
<p>■ <b>卸</b> +17百万m<sup>3</sup> (+1.2%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気温要因 ▲11百万m<sup>3</sup></li> <li>● その他 +28百万m<sup>3</sup></li> </ul> <p>卸供給事業者需要増等</p>



### お客さま件数(万件)

2015年度3Q実績	2014年度3Q実績	増減
1,135.2	1,120.9	+14.3 (+1.3%)

	2015年度3Q	2014年度3Q	増減
LNG液販売量(千t)	771	619	+152
平均気温(°C)	19.6	19.3	+0.3

# ビジョンベースガス販売量・工業用ガス販売量内訳

## 2015年度3Q実績

### ■ ビジョンベースガス販売量(単位:百万m3)

	15年度3Q 実績	14年度3Q 実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	10,833	10,850	▲17 ▲0.2%
トーリングによる ガス使用量	1,174	1,247	▲73 ▲5.9%
LNG販売量(m3換算)	964	774	+190 +24.5%
合計	12,971	12,871	+100 +0.8%

### ■ 工業用ガス販売量内訳(単位:百万m3)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	1,224	1,757	2,981
対14年度3Q実績	+85(+7.5%)	▲89(▲4.8%)	▲3(▲0.1%)
一般工業用	149	2,260	2,409
対14年度3Q実績	▲3(▲2.5%)	+42(+1.9%)	+38(+1.6%)
合計	1,372	4,018	5,390
対14年度3Q実績	+81(+6.3%)	▲46(▲1.1%)	+35(+0.6%)

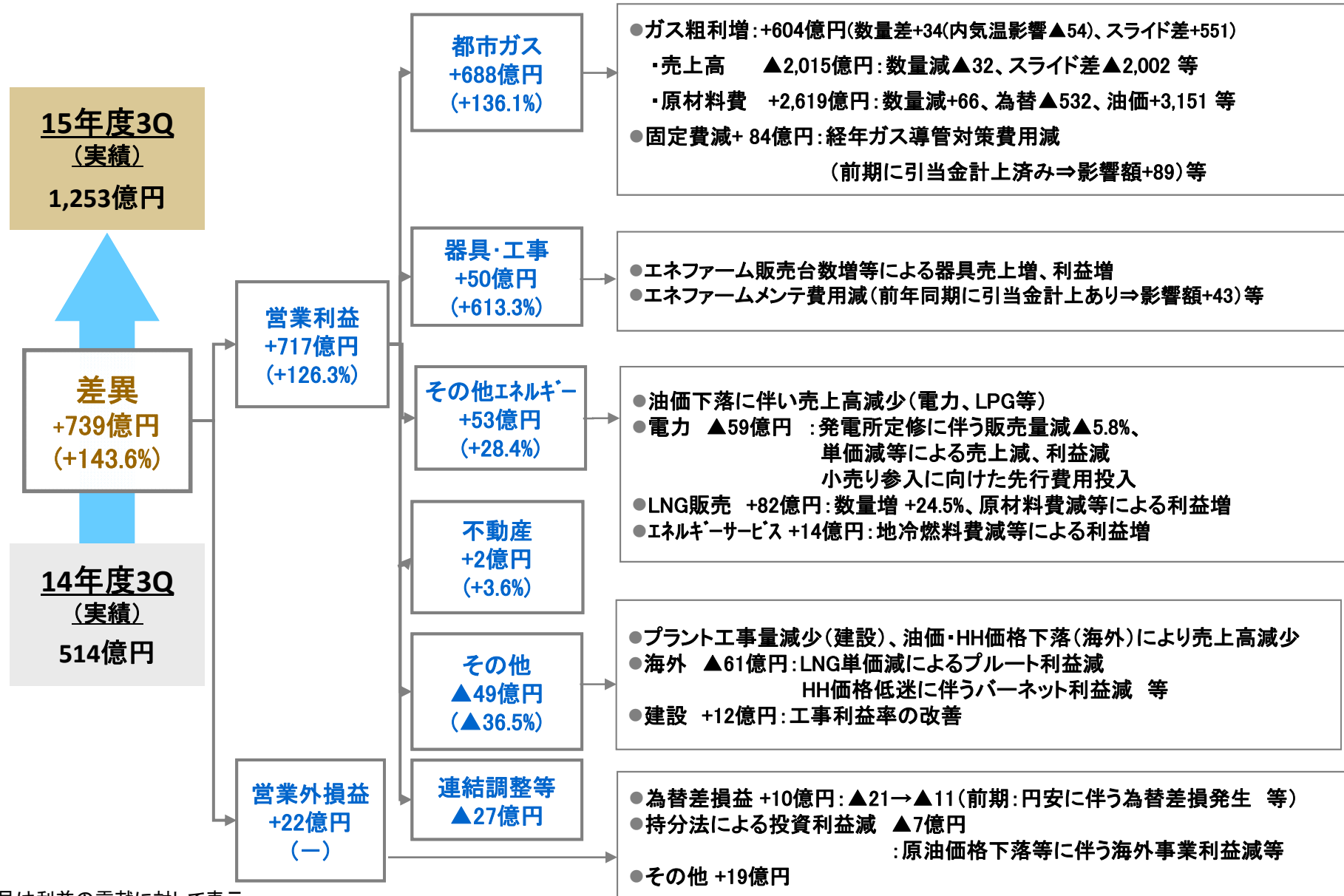
## 2015年度3Q実績 セグメント別売上高・セグメント利益(対前年度実績)

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2015年度3Q	2014年度3Q	増減	%	2015年度3Q	2014年度3Q	増減	%
都市ガス	9,180	11,195	▲2,015	▲18.0	1,193	505	688	136.1
器具及びガス工事	1,498	1,404	94	6.7	57	7	50	613.3
その他エネルギー	2,491	2,949	▲458	▲15.5	240	187	53	28.4
(電力事業)	896	1,234	▲338	▲27.4	90	149	▲59	▲39.4
不動産	189	193	▲4	▲2.3	41	39	2	3.6
その他	1,404	1,540	▲136	▲8.9	83	132	▲49	▲36.5
(海外事業)	213	274	▲61	▲22.4	19	80	▲61	▲75.7
調整額	▲1,365	▲1,482	117	—	▲332	▲305	▲27	—
連結	13,399	15,801	▲2,402	▲15.2	1,284	567	717	126.3

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」、「LNG販売」を含みます。
  - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
  - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ ( )内は内数表示

# 2015年度3Q実績 経常利益分析 <対前年度実績>



※符号は利益の貢献に対して表示

---

## 2. 2015年度 通期見通し

---





# 2015年度見通し(2015.4.1 - 2016.3.31) <対前回見通し(10月30日発表)>

**ポイント 減収増益(経常利益ベース)、当期純利益見通しは変更なし** ( + - ,+ / ▲は利益に対する影響を示す, 億円)

- ・ガス販売量は3Qの対前回見通し増減分を反映し、4Qはほぼ前回見通しを踏襲。
- ・経済フレームは、3Qまでの確定値を反映し、4Qの油価前提を\$55/bbl⇒\$40/bblに変更。
- ・これによりスライドタイムラグが増加するものの、海外事業の減損損失を特別損失に計上したこと等により当期純利益見通しは変更なし。

<b>売上高</b>	▲10	:	-	都市ガス	(▲60: 前回決算以降の油価推移を反映した販売単価減)
		:	+	その他	(+ 36: プラント建設工事の売上増 等)
<b>営業費用</b>	+210	:	+	都市ガス原材料費	(+232: 前回決算以降の油価推移を反映した原材料単価減)
<b>営業利益</b>	+200	:	+	都市ガス	(+179: ガス粗利+165(うちスライド差+185) 等)
		:	+	その他エネルギー	(+13: 電力+10 等)
<b>特別損益</b>	▲165	:	-	減損損失▲191(バーネット▲106、QCLNG▲84)	
		:	+	投資有価証券評価損の戻入れ +26	

(単位: 億円)

	今回見通し	前回見通し(10/30)	増減	%	前年度実績	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	15,602	15,614	▲12	▲0.1%	15,541	+61	+0.4%
売上高	18,950	18,960	▲10	▲0.1%	22,925	▲3,975	▲17.3%
営業費用	17,070	17,280	▲210	▲1.2%	21,207	▲4,137	▲19.5%
営業利益	1,880	1,680	+200	+11.9%	1,717	+163	+9.5%
経常利益...①	1,810	1,620	+190	+11.7%	1,681	+129	+7.6%
親会社株主に帰属する当期純利益*	1,220	1,220	0	0.0%	958	+262	+27.3%
* 2015年度から「当期純利益」より表記が変更。							
気温影響...②	▲93	▲54	▲39	—	▲41	▲52	—
スライドタイムラグ...③	663	478	+185	—	278	+385	—
年金数理差異償却額...④	▲23	▲23	0	—	30	▲53	—
補正経常利益...①—(②+③+④)	1,263	1,219	+44	+3.6%	1,414	▲151	▲10.7%

経済フレーム	為替レート (¥/\$)	原油価格 (\$/bbl)	平均気温 (°C)	4Q原油価格・為替レート変動 粗利影響感度	4Q	年金	運用利回り ※コスト控除後	割引率		期末資産 (億円)
今回見通し	121.31	50.94*1	16.3					年金分	一時金分	
前回見通し	120.94(+0.37)	56.93*(▲5.99)	16.1(+0.2)	原油価格JCCが\$1/bbl上昇	▲4	14年度	5.57%	0.829%	0.358%	2,810
前年度実績	109.76<+11.55>	90.36<▲39.42>	16.0<+0.3>	円・ドルレートが¥1/\$円安	▲9	13年度	1.61%	1.168%	0.571%	2,730

( )内対前回増減、 \*1 上期:58.84 3Q:46.18 4Q:40.00  
<>内対前年度増減 \*2 上期:58.84 3Q:55.00 4Q:55.00

# 連結ガス販売量見通し

## 前回見通し → 今回見通し

**▲12百万m<sup>3</sup> (▲0.1%)の減少**  
 [うち気温影響▲76百万m<sup>3</sup>, ▲0.5%の減少]

<b>■ 家庭用</b> ▲29百万m <sup>3</sup> (▲0.8%) ●気温要因 ▲44百万m <sup>3</sup> ●日数影響 ▲1百万m <sup>3</sup> ●お客さま件数 +2百万m <sup>3</sup> ●その他 +14百万m <sup>3</sup>
<b>■ 業務用</b> ▲12百万m <sup>3</sup> (▲0.4%) ●気温要因 ▲24百万m <sup>3</sup> ●日数影響 +1百万m <sup>3</sup> ●お客さま件数 +3百万m <sup>3</sup> ●その他 +8百万m <sup>3</sup>
<b>■ 工業用</b> ▲1百万m <sup>3</sup> (▲0.0%) ●一般工業用: +23百万m <sup>3</sup> ●発電専用 ▲24百万m <sup>3</sup>
<b>■ 卸</b> +30百万m <sup>3</sup> (+1.4%) ●気温要因 ▲8百万m <sup>3</sup> ●その他 +38百万m <sup>3</sup> 卸供給事業者需要増等

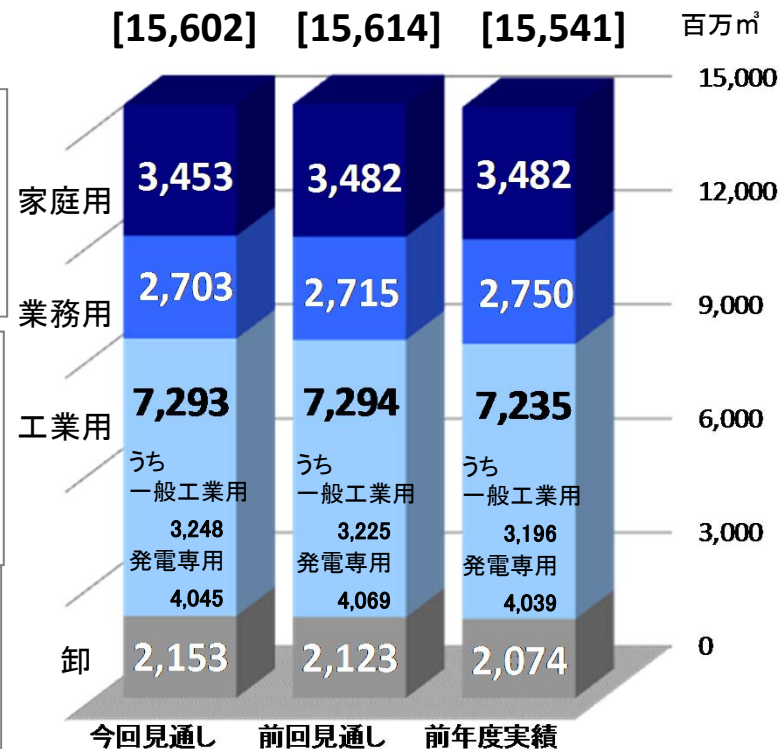
## 前年度実績 → 今回見通し

**+61百万m<sup>3</sup> (+0.4%)の増加**  
 [うち気温影響▲80百万m<sup>3</sup>, ▲0.5%の減少]

<b>■ 家庭用</b> ▲29百万m <sup>3</sup> (▲0.8%) ●気温要因 ▲55百万m <sup>3</sup> ●日数影響 +6百万m <sup>3</sup> ●お客さま件数 +49百万m <sup>3</sup> ●その他 ▲29百万m <sup>3</sup>
<b>■ 業務用</b> ▲47百万m <sup>3</sup> (▲1.7%) ●気温要因 ▲15百万m <sup>3</sup> ●日数影響 +11百万m <sup>3</sup> ●お客さま件数 +20百万m <sup>3</sup> ●その他 ▲63百万m <sup>3</sup>
<b>■ 工業用</b> +58百万m <sup>3</sup> (+0.8%) ●一般工業用: +52百万m <sup>3</sup> ●発電専用: +6百万m <sup>3</sup>
<b>■ 卸</b> +79百万m <sup>3</sup> (+3.8%) ●気温要因 ▲10百万m <sup>3</sup> ●その他 +89百万m <sup>3</sup> 卸供給事業者需要増等

## ガス販売量:

(百万m<sup>3</sup>以下四捨五入)



	今回見通し	前回見通し	増減
LNG液販売量(千t)	1,153	1,185	▲32
平均気温(°C)	16.3	16.1	+0.2

## お客さま件数(万件)

	今回見通し	前回見通し	増減
	1,139.6	1,138.9	+0.7(+0.1%)

# ビジョンベースガス販売量・工業用ガス販売量内訳

## 2015年度見通し

### ●ビジョンベースガス販売量(単位:百万m3)

	今回 見通し	前回 見通し	増減	前年度 実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	15,602	15,614	▲12 ▲0.1%	15,541	+61 +0.4%
トーリングによる ガス自家使用量	1,707	1,705	+2 +0.1%	1,669	+38 +2.2%
LNG販売量(m3換算)	1,441	1,481	▲40 ▲2.7%	1,150	+291 +25.3%
合計	18,750	18,801	▲51 ▲0.3%	18,360	+390 +2.1%

### ●工業用ガス販売量内訳(単位:百万m3)

	鹿島地区	その他地区	合計
発電専用	1,687	2,359	4,045
(対前回見通し)	+57(+3.4%)	▲79(▲3.3%)	▲24(▲0.6%)
(対前年度実績)	+98(+6.2%)	▲91(▲3.7%)	+6(+0.2%)
一般工業用	197	3,051	3,248
(対前回見通し)	+6(+3.3%)	+17(+0.5%)	+23(+0.7%)
(対前年度実績)	▲9(▲4.1%)	+61(+2.0%)	+52(+1.6%)
合計	1,884	5,409	7,293
(対前回見通し)	+62(+3.4%)	▲63(▲1.2%)	▲1(▲0.0%)
(対前年度実績)	+90(+5.0%)	▲31(▲0.6%)	+58(+0.8%)

## 2015年度見通し セグメント別売上高・セグメント利益 <対前回見通し(10月30日発表)>



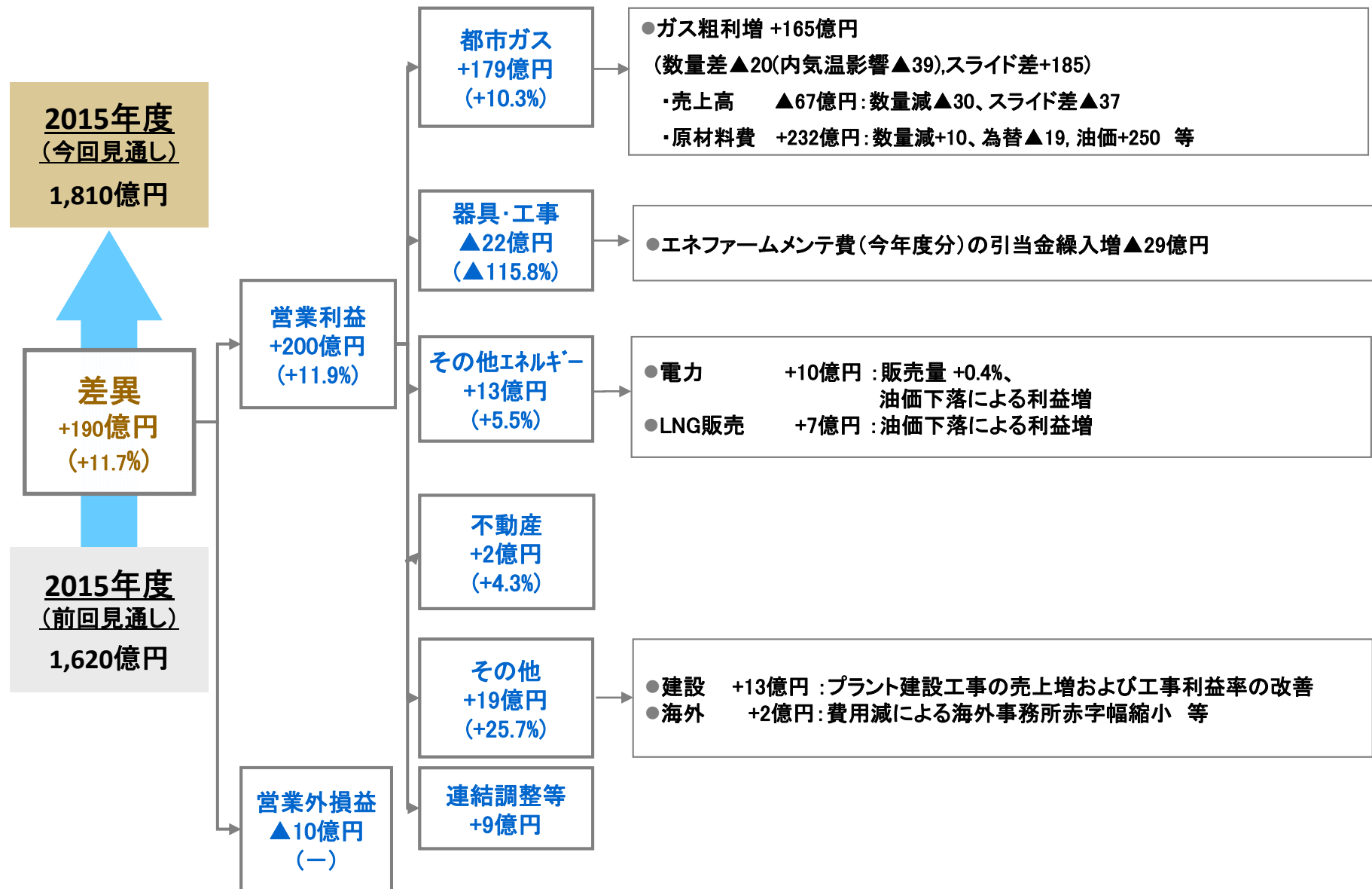
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	今回見通し	前回見通し	増減	%	今回見通し	前回見通し	増減	%
都市ガス	13,073	13,133	▲60	▲0.5	1,918	1,739	179	10.3
器具及びガス工事	2,099	2,114	▲15	▲0.7	▲3	19	▲22	▲115.8
その他エネルギー	3,470	3,437	33	1.0	249	236	13	5.5
(電力事業)	1,250	1,251	▲1	▲0.1	89	79	10	12.7
不動産	251	250	1	0.4	48	46	2	4.3
その他	1,960	1,924	36	1.9	93	74	19	25.7
(海外事業)	311	333	▲22	▲6.7	13	11	2	18.2
調整額	▲1,903	▲1,898	▲5	—	▲425	▲434	9	—
連結	18,950	18,960	▲10	▲0.1	1,880	1,680	200	11.9

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」、「LNG販売」を含みます。
  - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
  - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ ( )内は内数表示

# 2015年度見通し 経常利益分析

<対前回見通し(10月30日発表)>



※符号は利益の貢献に対して表示

## 2015年度見通し セグメント別売上高・セグメント利益 <対前年度実績>

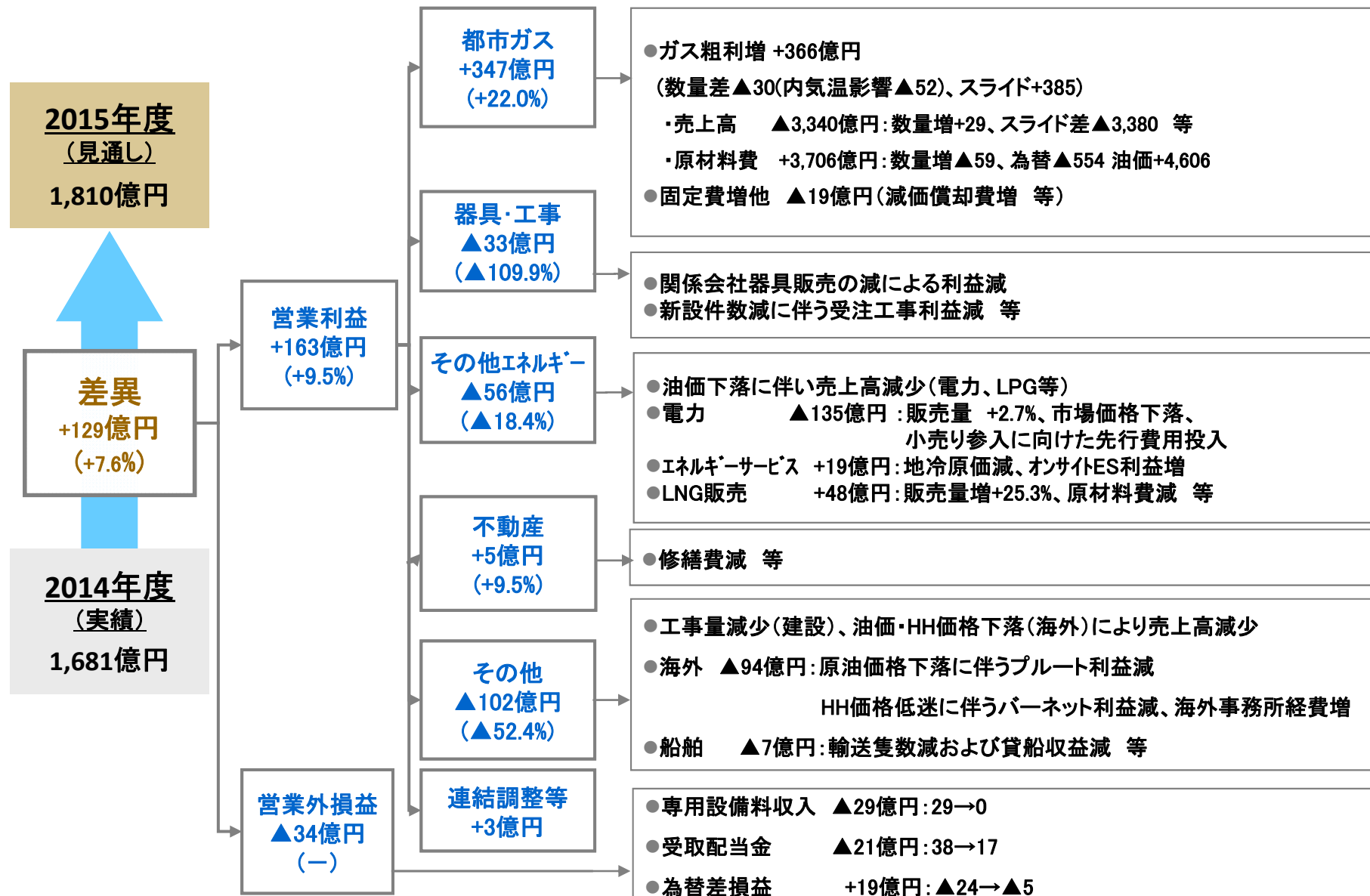
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	今回見通し	前年度実績	増減	%	今回見通し	前年度実績	増減	%
都市ガス	13,073	16,409	▲3,336	▲20.3	1,918	1,571	347	22.0
器具及びガス工事	2,099	2,049	50	2.4	▲3	30	▲33	▲109.9
その他エネルギー	3,470	4,082	▲612	▲15.0	249	305	▲56	▲18.4
(電力事業)	1,250	1,658	▲408	▲24.6	89	224	▲135	▲60.4
不動産	251	259	▲8	▲3.2	48	43	5	9.5
その他	1,960	2,262	▲302	▲13.4	93	195	▲102	▲52.4
(海外事業)	311	405	▲94	▲23.4	13	107	▲94	▲87.9
調整額	▲1,903	▲2,137	234	—	▲425	▲428	3	—
連結	18,950	22,925	▲3,975	▲17.3	1,880	1,717	163	9.5

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」、「LNG販売」を含みます。
  - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
  - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ ( )内は内数表示

# 2015年度見通し 経常利益分析

〈対前年度実績〉



※符号は利益の貢献に対して表示

# 主要計数表(連結)

(単位: 億円)

	2015年度 今回見通し	2015年度 前回見通し	2014年度 実績
総資産 (a)	22,960	23,080	22,576
自己資本 (b)	11,320	11,290	10,695
自己資本比率 (b)/(a)	49.3%	48.9%	47.4%
有利子負債 (c)	7,370	7,390	7,307
D/E レシオ (c)/(b)	0.65	0.65	0.68
親会社株主に帰属する当期純利益 (d)*	1,220	1,220	958
減価償却 (e)	1,440	1,430	1,418
営業キャッシュフロー (d) + (e)	2,660	2,650	2,376
設備投資 (Capex)	2,490	2,700	2,245
ROA: (d) / (a)	5.3%	5.3%	4.3%
ROE: (d) / (b)	11.0%	11.1%	9.2%
TEP	549	398	434
WACC	3.6%	3.6%	3.6%
総分配性向	60%程度予定	60%程度予定	60.8%

注: 自己資本 = 純資産 - 非支配株主持分  
 ROA = 純利益 / 総資産 (期首・期末平均)  
 ROE = 純利益 / 自己資本 (期首・期末平均)  
 BS関連数値は各期末時点の数値  
 営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却 (長期前払費用償却含む)  
 総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益

TEP (Tokyo Gas Economic Profit) について  
 TEP = NOPAT - 資本コスト (投下資本 × WACC)  
 ○株主資本 = 時価総額  
 ○WACC算定諸元(2015年度見通し)  
 ・有利子負債コスト 実績金利1.1%(税引後)  
 ・株主資本コスト率  
 ・リスクフリーレート 10年国債利回 0.55%  
 ・リスクプレミアム 5.5% β値 0.75

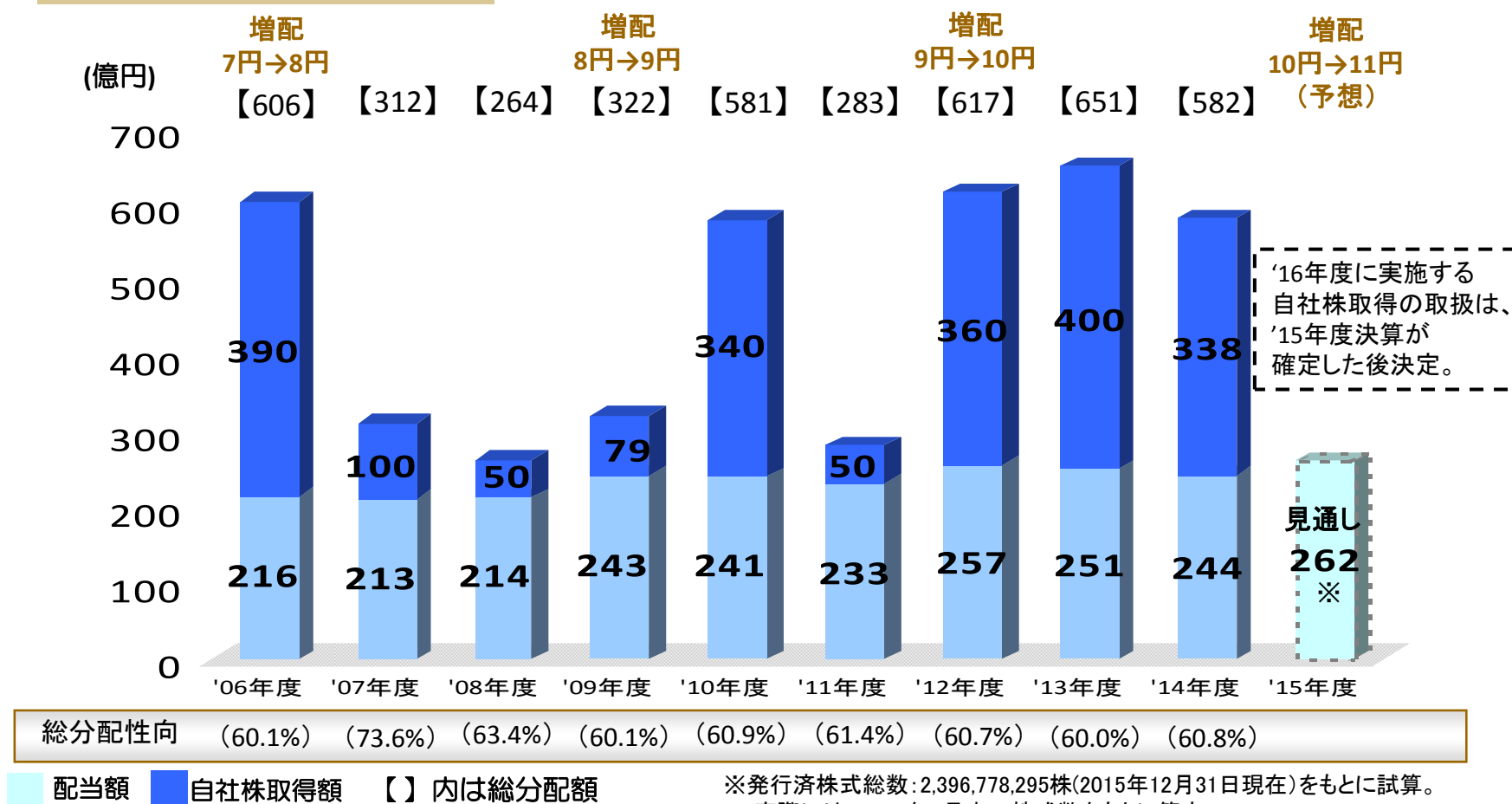
\* 2015年度から「当期純利益」より表記が変更。



# 株主還元

- 当社は、財務方針において総分配性向(連結当期純利益に対する配当と自社株取得の割合)の目標を、2020年度に至るまで各年度6割程度とし、配当と自社株取得により株主還元を行っている。
- 今般、収支見通し等を勘案し、一株当たりの今期末配当金予想について、1円増額修正(5⇒6円)。
- 一株あたり年間配当予想10円 → 11円/株(2015年度配当総額見通し:約262億円※)

## 総分配額、配当額の推移





### ＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

TSE:9531

---